



# 学校だより

横浜市立洋光台第一小学校

令和4年2月28日発行



## 『バトンパス』

校長 中村 智

職員玄関前の梅は、白い花を咲かせています。3分咲きといったところでしょうか。春の訪れを感じます。そしてひと月もしないうちに、校内の桜も花を咲かせることでしょう。梅から桜へ、花のバトンパスです。

今年度は、学校だより等でもたびたびお伝えしましたように、洋光台第一小学校創立後、半世紀50年を経過し、創立50周年記念式典や創立50周年を祝う会を行いました。またいろいろな行事もこれに関連付けて行ってきました。その中で、子どもたちも、これまでの洋一小のよさや特色を引き継ぎ、次につなげるという意識をもったことと思います。



1月、2月は、51年目の洋一小から52年目に向けて、バトンパスがいろいろな場面で行われました。

1年生は、近隣の3保育園（洋光台保育園、にしじろ保育園洋光台、やべのファミリールーム）の年長さんをお招きし、「幼保小交流会」を行いました。各クラスで洋一小に関することを紹介しました。校内にある洋一ガーデンや飼育小屋と一緒に行って紹介したり、学習で使う教材や教具の実物を示しながら教えたりしました。1年生から新1年生へのバトンパスです。

代表委員会は、6年生は参加せず、5年生がリーダーとなって進行しています。5年生が3年生、4年生に分かりやすく説明していました。

3月はこのバトンパスがさらに加速することでしょう。

3月15日の2・3時間目の卒業式予行には、5年生が参加します。例年ですと、卒業式には5年生が在校生代表として式に出ますが、残念ながら昨年度に続いて今年度も5年生の参加は見送っています。卒業式会場である体育館での3密を防ぐためです。5年生は卒業式当日には参加できませんが、卒業式予行での6年生の姿を見て、いろいろな思いをもつことでしょう。同日6時間目には、5年生と6年生による「引継ぎ式」を予定しています。ここでは、来年度洋一小のリーダーとなる5年生に6年生からメッセージが送られます。それに応えて5年生から6年生へのメッセージもあるはずです。この「引継ぎ式」でも、6年生から5年生へのバトンパスが行われます。

このように、各学年のバトンパスを通して、この一年間を振り返るとともに、次の年度への新たな決意や希望をもつ3月にしていきたいと思います。登校14日目には卒業式、18日目には修了式を迎えます。